

平成22年3月25日

本日（3月25日）、相鉄・JR直通線建設工事の起工式を挙行

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道㈱（本社・横浜市西区、社長・沼野 恵一）では、本日（3月25日）、鉄道・運輸機構（本社・横浜市中区、理事長・石川 裕己）と共催で西谷地区センター（横浜市保土ヶ谷区西谷町918）にて相鉄・JR直通線建設工事の起工式を挙行了しました。

式典には、松沢神奈川県知事や林横浜市長など約150名の関係者が出席し、起工宣言や鍬入れなどを行いました。

今後は用地取得や建設工事などに着手し、平成27年（2015年）の工事完成に向けて取り組んでまいります。

この路線は、都市鉄道等利便増進法に基づいて整備されるもので、昨年10月に国土交通省より工事施行認可を受け、相鉄本線西谷駅（横浜市保土ヶ谷区）とJR東海道貨物線横浜羽沢駅付近（横浜市神奈川区）間に新設される約2.7kmの連絡線を、整備主体である鉄道・運輸機構が整備・保有し、営業主体である相鉄がこれを使用してJR線との相互直通運転を行います。今月15日には、横浜市より都市計画決定が告示されるとともに、環境影響評価（アセス）報告書が公告され、実質的な着工の準備が整ったことから起工式を挙行了したものです。

相鉄・JR直通線の概要は別紙のとおりです。



石川理事長（右）と沼野社長による鍬入れの様子

相鉄・JR直通線の概要について

1. 整備区間 相鉄本線西谷駅～JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近
2. 路線距離 約2.7km
3. 事業費 約683億円
4. 開業予定 平成27年(2015年)4月
5. 整備主体 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
6. 営業主 相模鉄道株式会社
7. 運行区間 相鉄線 海老名駅・湘南台駅～西谷駅～羽沢駅(仮称)～JR線 新宿方面
8. 整備効果 例：二俣川駅～新宿駅間 59分 ⇒ 44分 (朝ラッシュ時)
9. 路線図



以上